



園長だより

第8号



新渡戸文化子ども園
平成27年1月7日

「振り返り」と「気づき」

新春のお慶びを申し上げます。本年もよろしくお願いたします。
昨年はいろいろとご協力ありがとうございました。

一昨年、日本に戻った私は初めて「振り返り」という言葉を職場で耳にしました。日本での社会人生活で「振り返り」という言葉は聞いたことがありませんでした。また、逆に「振り返らない！後ろは見ない！前を見る！」という事を諸先輩方から教えられていたので「振り返り」という言葉は、とてもネガティブフレミングなイメージがありました。さらに、保育をする上で指導案（日案、週案、月案、期案、年間計画）に対する反省で次に繋がる事を考察したので、「振り返る」という意識は薄かったように思います。

幼児教育は、小学校のように教科がない総合学習の形態をとり、遊びの中で様々な事を学んでいきます。よって、点数などで「振り返り」というよりは、保育者の「気づき」によって「振り返り」をします。その「気づき」の基となるのが指導案となるのでしょうか。

保育の「振り返り」をしていくと、一つ気づいたことがあります。

指導案に沿って「振り返り」をしていくと、反省と言っていた時よりも「振り返り」をした方が、ポジティブフレミングに気づきやすくなっているという事です。

こんな働きかけをしたから、A君は友達とぶつからずに仲良く遊べるようになった。こんな言葉がけをしたら、B子ちゃんは挨拶が上手にできるようになった。黙って見守っていたら、C君は自分から片付けができるようになった。。。。。。

もちろん反省もし、より良い保育を追及していく事も大切なのはあたりまえですが、それと同じように反省と同時に「振り返り」をすることでポジティブフレミングの見方ができるのだと「気づき」ました。

「Past is past」

昨年1年を「振り返り」、謙虚に反省をしながらも、ポジティブフレミングを心がけ、前を向いて背筋を伸ばし、「子ども達の未来のための、未来を見据えた、未来に夢を」を心がけ新年を迎えたいと思います。

本年もご協力の程、どうぞよろしくお願いたします。

つぶやき (ウィンタースクールにて)

スポグリッシュ (英語でスポーツ) にて最後に先生が「see you!!」と言いました。すると！年少組の男の子が！
(んん？どこかで聞いた言葉だな?) と

「SEIYU!!」と、言いました。

さすが子供の耳はすごいですね。ネイティブの発音を真似て、まるでネイティブの英語のように言っていました。

どこかのデパートの名前のようにも聞こえましたが、先生の発音をしっかりとキャッチして得意げでした。

担任初め長時間担任、園長なども職員全員がシフトで勤務をしております。決まった日付や曜日、早番や遅番などで勤務をしておりますので不在の場合もごさいます。ご用の際は、職員室におります事務職員等に伝言をしていただきますようお願いいたします。

ご協力の程よろしくお願いたします。

子ども園食育本発売

「新渡戸文化子ども園のすごい給食」が発売になりました。

学園でも購入可能となる予定です。後日お知らせいたします。

お楽しみに！